

平成22年度 いいね金沢環境活動賞受賞者（活動概要）

環境保全の部

（団体）

（50音順・敬称略）

| No | 氏名 | 分野 | 活動の概要 |
|----|--|-----------------|--|
| 1 | NPO法人 かほくがた こしゅう 河北潟湖沼 けんきゅうしょ 研究所 | 自然環境保全 | 河北潟周辺の環境問題の解決を通じて、持続可能な社会の実現を図ることを目標に平成6年に活動を開始した。平成11年には、石川県で初の環境NPO法人に認定されている。河北潟自然観察会の開催、ニュースレター・研究所機関誌の発行などの定期活動のほか、侵略的な外来種の除去活動などの地域と協働しての活動、またその分布状況調査など、多分野にわたる活動を継続している。 |
| 2 | ふたつかじよせいかい 二塚女性会 | 地球温暖化防止 3R推進 | 以前から、雑紙や牛乳パックの回収を行っていたが、平成21年度に市の「市民エコプロジェクト」に応募し、本格的に取り組みを始めた。家庭でできる省エネを実践しての電気使用量調査、マイバッグやアクリルたわし作り教室、生ごみコンポスト教室、エコクッキング教室、環境ミニ講演会などの開催を行っている。その活動は、会員間から地域へと広まりを見せている。 |
| 3 | もり い かい 森と生きる会 | 地域の環境保全 活動 | 四十万地区の有志で、3年前から地域の竹林を「あいぞめの里 体験・収穫の森」として、竹林の伐採、作業小屋・竹炭小屋作り、古道（散策路）の整備などを行い、伐採した竹の利活用を図っている。また、地域の子供達に、楽しく竹炭焼きや竹細工を体験してもらうことにより、地域の特性を生かした里山保全の大切さを伝える活動を行っている。 |

（事業所）

| | | | |
|---|--|---------------------------------|--|
| 4 | 金沢市立 よねまる しょうがっこう 米丸小学校 | 環境教育・学習 | 委員会活動を母体として、これまで、地下道清掃などの地域清掃活動や「環境新聞」の発行、全校児童によるアルミ缶回収・育友会による資源回収への参加などのリサイクル活動に取り組んできた。昨年度からはペットボトルキャップの回収活動にも積極的に取り組んでおり、地域の方々及び団体からプルタブやペットボトルキャップの提供を受けるなど、子供達の熱心な取り組みが地域へも広がっている。 |
| 5 | 株式会社 たまや けんせつ 玉家建設 | 地域の環境保全 活動 | 平成15年から「玉家の森づくり」として湯涌田子島町地内3.7haの山林で森づくり活動に取り組んでいる。平成19年には、市が認定する第1回「企業の森づくり宣言」も行い、その活動は、市の「企業の森づくり」活動のモデルとなっている。活動は協力会社70社にも広がり、約150名の参加者が年3回、植樹、下草刈り、間伐、遊歩道整備などに取り組んでいる。家族ぐるみの参加もあり、子供たちも森林保全活動を行っている。 |
| 6 | 株式会社 ナカタケ | 廃棄物発生抑制・再利用 再生可能エネルギー 普及 | これまで、廃棄物として埋立処理されてきた、瓦の葺き替え時に排出される大量の廃棄瓦を、自社内にてチップ化して造園・園芸資材として再生することにより、廃瓦の100%有効利用を実施し、廃棄物を大きく削減している。また、約12年間前から住宅用太陽光発電の普及に努めるとともに、小型風力発電における独自のシステムを開発し、余剰電力の売電を可能とした。ホームページには、社屋に設置している、太陽光と小型風力発電による毎日の発電量を掲載し、再生可能エネルギー利用の普及に努めている。 |
| 7 | につきそう 日機装株式会社 かなざわ せいさくしょ 金沢製作所 | 地域の環境保全 活動 省エネ活動 廃棄物削減 | 平成12年にISO14001を取得し、環境に配慮した事業活動を継続している。また、同年設立された「金沢エコ推進事業者ネットワーク」に参加して、自社の「地球温暖化防止実行計画」を策定し幹事会員として活動してきた。平成21年度からは、製造グループの副代表として市と協働し、ネットワークの運営を行っている。地域の環境保全活動としては、平成19年から金沢テクノパーク企業5社と合同で、テクノの森づくり活動、テクノパーク内の道路、公園の清掃活動などを積極的に行っている。 |

地域美化の部

(個人)

(50音順・敬称略)

| N O | 地区(校下) | 氏名 | 活動内容と効果 |
|--------|--------|--------------------|--|
| 1 | 崎浦 | おかだ としのぶ 岡田 俊信 | 15年にわたり、ごみ集積場所の提供、コンテナ等の器材の保管、違反ごみの保管など、集積場所の管理に尽力されている。集積場所を良好に管理してもらうことで、分別やごみ出しのルールが確立し定着した。 |
| 2 | 崎浦 | さくだ きよこ 作田 清子 | 平成7年から、献身的にごみ出し方3原則を徹底させる取り組みを行っている。その結果、アパートやマンションの住民が半分近くを占める町会であり、15年前のごみの出し方はひどい状態であったが、今では住民のほとんどに分別について理解と協力を得られるようになった。 |
| 3 | 新神田 | むらもと きよこ 村本 佐代子 | 平成9年から、早朝に犀川鉄橋から二ツ寺橋間往復10kmをごみ拾いしながら歩き、不法投棄や落書きなどを発見した場合は記録や報告をおこなっている。朝の通学、通勤時間に一日も休まずに活動する姿は、河岸を利用する人達のマナー向上に大きく貢献している。 |

(団体)

| | | | |
|---|-----|------------------------------|--|
| 1 | 戸板 | しめの きき だんち ちょうかい 示野機器団地町会 | 当番制で、可燃ごみ以外のごみ出し日に、分別指導、他町会からの持ち込み防止、違反ごみの分別し直しなどを実施した結果、ごみ出しルールが守られ、ごみステーションの美化が図られた。また独自にチラシを作成、全世帯に配布し、分別の徹底を訴えている。 |
| 2 | 浅野川 | すさき ちょうかい 須崎町会 | 住民全員が当番制でごみ出し指導にあたり、分別意識の向上、他町会からの持ち込み防止に努めたことにより、分別が徹底され、持ち込みが減った。また、新たにごみ用器材の保管小屋を設置し、ごみステーションの美化も図られている。 |
| 3 | 鞍月 | ちかおかまち ちょうかい 近岡町町会 | ごみ当番のほかに、専任の指導員を配置することにより、分別の徹底、他町会からの持ち込み防止を図っている。またアパート住民へ独自のチラシを配布するなどの分別指導を行った結果、多くの住民が分別に協力的になった。 |